

| 項目 | | 説明 |
|---------------------------------------|-----------------------------|---|
| 試料・情報の利 用目的 及び 利用方法 | 研究課題名 | CLDN18-ARHGAP fusion を有する胃癌における臨床病理学的検討 |
| | 研究目的 | 胃癌の中でも予後の不良な患者さんが多いグループがあります。そのなかで CLDN18-ARHGAP fusion を有する患者さんがおり、その特徴について過去にいくつかの報告がなされています。しかし、臨床病理学的な特徴についてはまだ不明な点も多いです。そこで我々は、当院生体試料センターに提供いただいた検体を用いて、その特徴について詳細な検討を行うことで、今後の治療戦略の一助とするために本研究を行うこととしました。 |
| | 研究対象者 | 2005年10月～2020年3月に当センターで胃癌手術を受けられた患者さん |
| | 研究期間 | 西暦 2020年6月22日～西暦 2021年3月31日 |
| 利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します) | | <input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 |
| 試料・情報の 管理について の責任者 | 当センター 研究責任者 | 金田 義弘 |
| 試料・ 情報を 利用す る者の 範囲 | 当センターでの実施診療科/部局等 | 消化器内科消化管,臨床研究所 |
| | 共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者 | |